

1. 経済と経済学

イントロダクション

今回のキーワード

- ⊕ 経済
- ⊕ 物質代謝
- ⊕ 効率的・社会的運営
- ⊕ 生産・消費・流通
- ⊕ 市場社会と資本主義社会

今回の課題

- ✓ 経済とは一体なんなのか、3つのレベルでまとめる。
 1. どの人類社会にも共通なレベル
 2. 市場社会としての現代社会
 3. 資本主義社会としての現代社会
- ✓ 経済学の課題を明らかにする。

今回の内容

1. 経済とは何か？
 - ① 経済活動
 - ② 経済システム
2. 社会経済学とは何か？
 - ① 経済学一般の共有のイメージ
 - ② この社会経済学の特有のメリット

1. 経済とは何か？

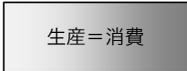
多義的イメージの整理

1.1 経済活動

生命活動のやり方としての経済活動

0. 下等な生物の生命活動

- 生命活動
 - ≡ 物質代謝 (⇒次回詳説)
- 生産と消費とが一致
- 自然と個体は一体のもの



1. 人類一般の生命活動

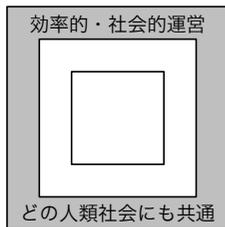
- 消費と生産とが分離
- 自然から個体 (=自分) が独立
- 物質代謝 (=生命活動=生活) を
 - 自分自身で運営する,
 - ↓ その結果として
 - 効率的・社会的に運営する。
- ≡ **経済活動**



例

例：共通——言葉では…

- Economy, economize
 - なによりもまず労働の節約
 - 効率的運営としての経済活動
- 経世済民 (経国済民)
 - 世の中と人々を上手く治めること
 - 社会的運営としての経済活動



ただし——How?

- どのように効率的？
どのように社会的？
なのかは、時代に応じて違う。
- 平安時代と江戸時代とでさえ量的に (=程度問題として) 違う。
- ↓ ましてや
- 前近代の共同体と現代社会とでは質的に (=決定的に) 違う。

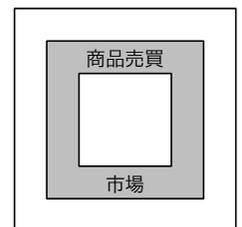
2. 市場社会としての現代社会

- 生産と消費との間に、市場での商品**流通**が入ってくる。
- 生産物の**分配**も市場での商品流通を通じて行なわれる。



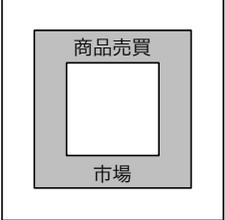
市場社会——How?

- 市場を通じて
 - 効率的に
 - すべてのコストが貨幣表示で一元化
 - 社会的に
 - そもそも商品交換は一人ではできない



例 市場社会——言葉では…

- 旅客機のエコノミークラス
 - 労働そのものの節約ではなく、貨幣の節約
 - 貨幣の節約という形での労働コストの節約 (安くするという事は労働コストを減らすということ)



3. 資本主義社会としての現代社会

- 生産および流通を個人ではなく、資本主義的営利企業が担うようになる。



資本主義社会——How?

- 資本主義的営利企業を通じて
 - 効率的に
 - カネモウケのために企業がイノベーション 【「6」で詳説】
 - 社会的に
 - カネモウケのために市場を世界化
 - 企業の中に社会を形成 【「7」で詳説】



例 資本主義社会——言葉では…

- “俺たちや慈善活動してるんじゃねー、経済活動してるんだ”
- エコノミック・アニマル



経済活動の三つの意味 (まとめ)

- 物質代謝を自分自身で効率的・社会的に行うということ
 - どの社会にも共通な経済活動
- 商品売買のこと
 - 市場社会の経済活動
- 営利活動のこと
 - 資本主義社会の経済活動



1.2 経済システム

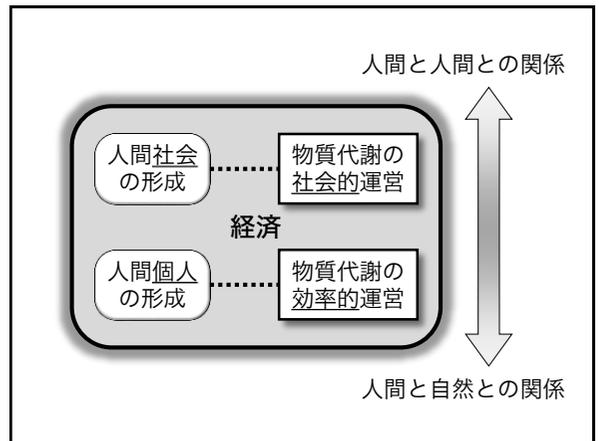
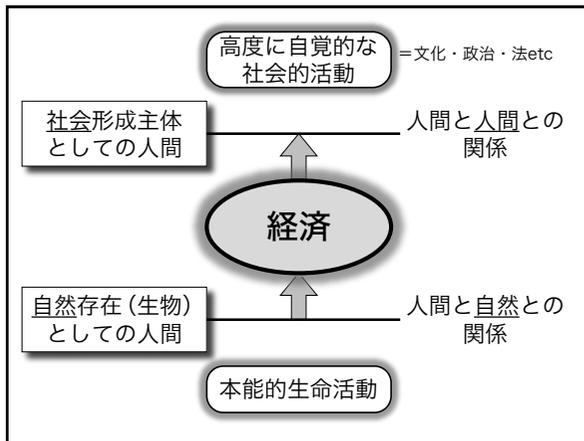
社会の土台としての経済

1. 人類社会の中の経済システム

- そもそも、いつの時代でも、
 - 経済活動は人類の存続に不可欠である。
 - 自然と社会とを結ぶのが経済活動である。
 - 経済システムは、その他の社会的なサブシステムの性格を決める規定的要因である。

経済活動の根源性

- ひとたび人間が形成されたら、種としてはもはや動物に戻ることはできない。
- = すなわち、
- 経済活動を行わないというのは、物質代謝の主要部分を止めるということに等しい。
- ∴ それゆえに、
- どんな人類社会でも、経済活動を止めたら、すぐに消滅してしまう。



2. 前近代的共同体の中の経済システム

- そもそも、いつの時代でも、経済システムは、その他の社会的なサブシステムの性格を決める規定的要因である。
- ⇕ とはいっても、
- 前近代的共同体では、経済システムがその他の社会的サブシステム（政治・宗教・文化など）と混じり合っていた。



例 江戸時代のお殿様の基本的な経済活動

1. 百姓から年貢を徴収して、
2. 家臣団に配布し、
3. 余った部分は大坂の米問屋などに売却する。

例

(市場) 経済外的強制

年貢の徴収は

- 法律に基づき、物理的暴力を担保しつつ、政治的権力を行使する。

↓ つまり

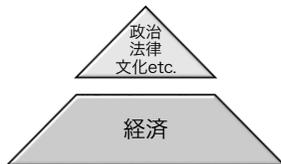
- 経済活動でありながら、同時に政治活動でもある。

3. 現代社会の中の経済システム(1)

- 現代社会
=資本主義的な市場社会
- 現代社会では、財貨・サービスの圧倒的大部分を——
 - 資本主義的営利企業というもっぱら経済活動だけを行う主体が
 - 市場というもっぱら経済活動だけを行う場に向けて生産し、そこにおいて流通させている。

3. 現代社会の中の経済システム(2)

- 現代社会では、
 - 経済システムが（その他の社会的なサブシステムから）自立化する。
 - 経済システムはすべての社会的なサブシステムの土台として現れる。



2. 社会経済学とは何か？

そのメリット

経済学の一般的イメージ

- 現代においては、財貨・サービスの圧倒的大部分が 営利企業によって 市場という社会的な場に向けて生産され、そこにおいて流通する。
- 社会の中で生産・流通する財貨・サービスを“**富**”と呼ぶ。
- 経済学は、社会的富の生産・流通・分配にかんする学問である。

社会経済学とは？

- 経済一般・市場経済・資本主義経済という、三つのアスペクトに即して経済活動を把握
- 現代社会システムを経済システムという、その土台から把握
- ↓ 両者を通じて
- われわれが住んでいる現代社会を
 - 根本から把握
 - トータルに把握

今回のまとめ

- ❖ 経済活動とは、物質代謝の効率的・社会的運営のことである。
- ❖ 現代社会は資本主義的な市場社会であり、それに特有な、効率的・社会的運営のやり方がある。
- ❖ 経済という言葉が多様な意味を持っているのは、経済という現実が重層的な構造を持っているからである。